

BIWAGAKU
PRE COLLEGE
2026



出前授業

びわこプレカレッジ2026

びわこ学院大学の出前授業（プレカレッジ）は、高校生の方に『大学での学び』を体験していただく機会として、また、本学専任教員の専門性を活かした地域貢献として実施しています。

実施内容は、模擬授業形式と講演形式があり、進路選択前の時期に実施される模擬授業や、人権研修などの講演の際にお声掛けください。



びわこ学院大学

教育福祉学部 子ども学科/スポーツ教育学科

小学校教育コース/幼児教育コース/学校保健コース/総合マネジメントコース
体育教育コース/特別支援教育コース/スポーツマネジメントコース

お問い合わせ先
Contact
Information

びわこ学院大学 入学センター
☎ 0748-35-0006
✉ cl-admin@newton.ac.jp

びわこ学院大学 プレカレッジ(出前授業)科目一覧

A/教育(全般) E/教育(スポーツ系) H/福祉(全般)
 B/教育(小学校系) F/教育(特別支援系) I/福祉(介護系)
 C/教育(幼児教育・保育系) G/情報 J/その他
 D/教育(養護教諭系)

NO	分野	タイトル	講師役職	講師氏名
1	A	教育について考えてみよう ～日米の子育て比較調査をもとにして～	教授	榎本 恵理
2	A	「教えない」教育の方法	准教授	白銀 研五
3	A	いのち(命)の安全教育 ～性暴力・性犯罪から身を守ろう～	教授	内藤 紀代子
4	A	こころのメンテナンス		
5	A	「折れない心」は作れる！ ～自分を最強にする「心のトリセツ」～	講師	福田 美紀
6	A	人生の主人公になろう ～心理学で見つけ出す本当の自分との向き合い方～		
7	A	エンカウンターで相互理解を深めよう	教授	南 雅則
8	A	映画で考える子ども学	准教授	渡辺 雅幸
9	A	教職入門の入門		
10	A	学びのふるさとを寺子屋にたずねて	准教授	和田 充弘
11	A	寺子屋における道徳の学び		
12	AB	小学校理科にすべての答えはある	教授	箱家 勝規
13	AB	たのしめる大学の科学の授業		
14	AFH	楽しい音楽療法(ミュージックセラピー)	准教授	竹下 則子
15	AFH	楽しい音楽リクリエーション ～幼児、児童、学生、高齢者、障がいがある方のために～		
16	B	小学校体育の器械運動の指導ポイント身に付けよう！～小学校の先生向け～	教授	深田 直宏
17	BC	パスや絵の具、ついでにローラーも使って楽しく遊んでみよう！！	講師	和田 健一
18	BC	つんで・つんで・つんで		
19	C	幼児教育の大切さについて考えよう	教授	榎本 恵理
20	C	身体活動で育てたい力 ～非認知能力が育つには～	教授	奥田 愛子
21	C	遊びの中で育つもの	講師	川副 知佐
22	C	作ろう・遊ぼう・幼児が楽しむ造形遊び	教授	中井 清津子
23	C	子どもは遊びが大好き！～遊びを支える幼児教育・保育～	准教授	三上 佳子
24	CB	声を出してみよう ～お腹から歌うって??～	准教授	林 育子
25	CH	子どもを持つ親のリアルと子育て支援 ～今時の子育て家庭の現状って!??～	准教授	榎本 祐子
26	CH	幸せって何? ～社会福祉の視点で今とこれからの幸せについて考えよう～		
27	D	生活習慣と心の健康 ～心と身体を整えよう～	教授	住吉 由加
28	DHIJ	医療・看護・養護・社会福祉・介護系を目指す方へ	教授	新屋 久幸
29	E	児童・生徒の身体活動に関わるメンタルケア ～スポーツカウンセラーの仕事	教授	奥田 愛子
30	E	球技に活かすムーヴメントスキルの獲得	講師	小野寺 恵介
31	E	元プロ選手から教わるバスケットボール		
32	E	スポーツ科学研究体験	教授	高木 俊
33	E	スポーツ栄養学(入門編)		
34	E	実力発揮するには? ～メンタルトレーニングを体験してみよう(導入)～	講師	竹内 早耶香
35	E	実力発揮するには? ～メンタルトレーニングを体験してみよう(展開)～		
36	E	水泳の飛び込みを安全に習得する!	教授	吉見 譲
37	E	アスリートは今どうあるべきなのか? コーチング学の立場から、アスリートやスポーツ関係者に知っておいてほしいこと!		
38	F	言葉がひらく教育の可能性 ～発達に偏りのある子どもの支援に着目して～	准教授	白銀 研五
39	FH	ピクトグラムでコミュニケーション	教授	藤澤 和子
40	FH	知的障害や発達障害のある人たちにわかりやすく伝えるコツ		
41	G	楽しく! ソフトウェアの仕組みを学ぼう! ～簡単なプログラミング体験を通して!～	教授	長嶺 共全
42	H	大規模災害時、災害弱者といわれる人をどう守るのか～高齢者や障がい者、子どもといった、災害弱者をどう守るのか～	教授	烏野 猛
43	H	これからの社会福祉・社会保障～私たちの暮らしの中で、社会福祉や社会保障がどう関係しているのか～		
44	HI	コミュニケーションゲーム ～福祉現場で必要な「話す、聴く、伝える」を学ぶ～	教授	片山 弘紀
45	H	人間関係とは ～自己実現を目指して～	講師	山ノ井 勉
46	I	介護過程の展開 ～介護過程の構造を理解し、アセスメントの達人を目指しましょう～		
47	I	認知症の理解 ～認知症の種類や関り方について考えてみよう～	講師	吉原 真紀
48	I	高齢者体験 ～高齢者体験キットを使い、高齢者の気持ちになってみよう～		

2026年度びわ学プレカレッジ(出前授業)メニュー

No.1	タイトル	教育について考えてみよう 日米の子育て比較調査をもとにして	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			A	講義型	指定なし	
	授業内容	子育てのやり方は、時代や場所によっても大きく異なります。日本とアメリカの子育ての比較調査をもとにして、その違いについて学び、教育についての考えを深めていきましょう。				
	備考					
No.2	タイトル	「教えない」教育の方法	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			A	講義型	指定なし	○
	授業内容	この授業では、「教える」ことに対するイメージから抜け出して、「教えず」に教える方法を折り紙を使って体験していきます。そのうえで、学校教育においてつまづきのある児童生徒にどのように対応するのか、これからの教育に求められることを考えていきます。				
	備考	パワーポイントを使用します。プロジェクターとスクリーン(又はテレビ)を使用します。PCは持参します。				
No.3	タイトル	いのち(命)の安全教育 性暴力・性犯罪から身を守ろう	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			A	講義型	指定なし	○
	授業内容	文部科学省と内閣府が強化しているいのち(命)の安全教育を大学生がピア効果を用いて講演します。				
	備考	タイトルに関連した、包括的性教育、ライフスキルの出前授業も行っています。内容の調整はご相談ください。				
No.4	タイトル	こころのメンテナンス	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			A	講義型	指定なし	○
	授業内容	こころの不調のサインに気づき対処する方法を学びます。厚生労働省の「若者を支えるメンタルヘルスサイト」を活用しながら授業を進めていきます。				
	備考					
No.5	タイトル	「折れない心」は作れる！ 自分を最強にする「心のトリセツ」	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			A	講義型 体験型	指定なし	○
	授業内容	学校生活、人間関係などの「ピンチ」に直面したとき、ストレスを「敵」として避けるのではなく、自分の力(エネルギー)に変える具体的な技術を伝えます。健康心理学の理論をベースに、体験談を交えながらすぐに使えるワークを交え、生徒たちが「明日からやってみよう！」と思えるしなやかなメンタル(レジリエンス)を育みます。				
	備考					
No.6	タイトル	人生の主人公になろう 心理学で見つけ出す本当の自分との向き合い方	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			A	講義型 体験型	指定なし	○
	授業内容	心理学の知見を元に客観的な自己理解を深めます。「自分には何もない」という思い込みを払拭し、自分固有の「強み」を再発見するプロセスを体験を通して学びます。内省と対話を通じて、他者比較ではない「自分軸の価値観」を明確にすることによって、将来への不安を意欲へと変え、自ら人生を切り拓く主体的態度を育みます。				
	備考					

2026年度びわ学プレカレッジ(出前授業)メニュー

No.7	タイトル	エンカウンターで相互理解を深めよう	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			A	体験型	5~40	
	授業内容	何種類かのエクササイズ(構成的グループエンカウンター)を通して、望ましい人間関係の構築や自己理解を通じて自己肯定感を高めるきっかけをつかみましょう。				
	備考	メンバーが動き回れる程のやや広めの部屋、人数分の椅子、ホワイトボードが必要。				
No.8	タイトル	映画で考える子ども学	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			A	講義型	指定なし	○
	授業内容	映画に描かれる子どもの姿を通じて、子どもとは、教育とは何かについてみなさんと一緒に考えます。				
	備考					
No.9	タイトル	教職入門の入門	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			A	講義型	指定なし	○
	授業内容	学校の先生(教職)とはどんな仕事なのか、学校の先生になるためには何が必要なのかをみなさんと一緒に考えます。				
	備考					
No.10	タイトル	学びのふるさとを寺子屋にたずねて	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			A	講義型	指定なし	○
	授業内容	寺子屋教育の基礎知識と東近江市五個荘地域の事例について、小中学生向け地域教材と東近江市近江商人博物館での企画展の図録とを兼ねた資料で説明します。				
	備考	びわこ学院大学和田充弘研究室作成の同タイトル教材を使用します。(ホームページより閲覧とダウンロード可)。				
No.11	タイトル	寺子屋における道徳の学び	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			A	講義型	指定なし	○
	授業内容	江戸時代の寺子屋では、習字の手本を使った徳育が行われていました。東近江市五個荘地域の事例について、小中学生向けの地域教材をもとに説明します。				
	備考					
No.12	タイトル	小学校理科にすべての答えはある	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			AB	体験型 その他	40人	
	授業内容	難しいと思われる理科の問題は、すべて小学校の理科の時間に学んだこととつながっています。小学校では、自然、事物の本質を学習しているからです。本質を学ぶ小学校のたのしい理科の授業を実験を通してみなさんに体験してもらいます。				
	備考	可能なら理科室を希望します。実験材料は持参します。				

2026年度びわ学プレカレッジ(出前授業)メニュー

No.13	タイトル	たのしめる大学の科学の授業	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			AB	体験型 その他	40人	
	授業内容	「公式は覚えなくてもよい」「名前も覚えなくてもよい」、ただ「たのしむ科学」の授業をみなさんには体験してもらいます。 「大学の授業つまらない」というイメージは吹き飛び、科学の面白さを感じることに間違いなしです。身近にある材料を使ってたくさんのおもしろい実験を紹介します。				
備考	可能なら理科室を希望します。実験材料は持参します。					
No.14	タイトル	楽しい音楽療法(ミュージックセラピー)	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			AFH	講義型 体験型	指定なし	
	授業内容	音楽療法は教育・医療・福祉などの幅広い分野におけるさまざまな年齢層の方々に対して心身をいやしたり心身の発達を援助したりすることができます。就職後も役に立つ音楽療法の基礎理論から実践まで楽しみながら学びましょう。				
備考						
No.15	タイトル	楽しい音楽リクリエーション	分野	形式	最大人数	プロジェクト
		幼児、児童、学生、高齢者、障がいがある方のために	AFH	講義型 体験型	指定なし	
	授業内容	音源や楽器を使用せずに誰でも楽しむことができる音楽リクリエーションを学ぼう！ アイスブレイクやすきま時間に音楽を用いることで心身の疲れを回復し、リフレッシュすることができます。就職後も役に立つ音楽リクリエーションの基礎理論から実践まで楽しみながら学びましょう。				
備考	椅子や机が移動できる教室1つ分(約20人対象)～教室2つ分(約35人対象)の広さの室内スペースが必要です。					
No.16	タイトル	小学校体育の器械運動の指導ポイント身に付けよう！	分野	形式	最大人数	プロジェクト
		小学校の先生向け	B	その他	5～20人	
	授業内容	パスや絵の具を使って様々な技法を試してみます。(上手・下手)なんて関係ありません。ピカソは、この歳になってやっと子どものように描けるようになったと言っています。もともと図工や美術は楽しいもの。無心にクレヨンや絵の具で描いていた幼かった頃に戻って、描くこと・創ることを楽しんでみましょう。				
備考	使用機材:タブレット、使用備品:マット、跳び箱、鉄棒 運動できる支度、タオル、暑い季節の場合には飲み物の準備をして下さい。					
No.17	タイトル	パスや絵の具、ついでにローラーも使って楽しく遊んでみよう！！	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			BC	体験型	20	
	授業内容	パスや絵の具を使って様々な技法を試してみます。(上手・下手)なんて関係ありません。ピカソは、この歳になってやっと子どものように描けるようになったと言っています。もともと図工や美術は楽しいもの。無心にクレヨンや絵の具で描いていた幼かった頃に戻って、描くこと・創ることを楽しんでみましょう。				
備考	水彩絵の具、新聞紙、画用紙、ローラーなどこちらで用意します。 (可能な方は、ご自分の水彩絵の具をご持参ください)					
No.18	タイトル	つんで・つんで・つんで	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			BC	体験型	30	
	授業内容	あらかじめ完成形の決まった作品づくりではなく、紙コップや木切れを使って、高く高く積んでいきます。つくりながら・工夫しながら、どんどん発想を広げていく「造形遊び」をしましょう。				
備考						

2026年度びわ学プレカレッジ(出前授業)メニュー

No.19	タイトル	幼児教育の大切さについて考えよう	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			C	講義型	指定なし	
	授業内容	少子化が社会問題となり、子育てしにくい社会を変えていこうという動きがあります。そのような中で幼児教育の大切さについて一緒に考えてみましょう。				
	備考					
No.20	タイトル	身体活動で育てたい力 非認知能力が育つには	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			C	体験型 講義型	40人	○
	授業内容	保育・幼児教育現場での子どもの身体活動や、参加者の身体活動の経験等を通して、非認知能力について考えます。				
	備考	スクリーン(白布・白紙も可)を使用します。				
No.21	タイトル	遊びの中で育つもの	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			C	体験型	20人	
	授業内容	手遊び・折り紙・身近な物を使っての遊びを通して、子どもの育ちを考えてみたいと思います。				
	備考	折り紙や簡単な材料など内容に応じて必要になります				
No.22	タイトル	作ろう・遊ぼう・幼児が楽しむ造形遊び	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			C	体験型	20人程度	
	授業内容	身近な材料を使って、幼児の発達の応じた造形活動の目的を考えながら作ったり遊んだりする。				
	備考	材料など内容に応じて必要になります。				
No.23	タイトル	子どもは遊びが大好き! ～遊びを支える幼児教育・保育～	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			C	体験型 講義型	30人	○
	授業内容	園生活で、楽しかった遊びを覚えていますか?そこには、「楽しさ」を広げる保育者や友達の存在、幼児教育・保育の専門性があります。今回は、折り紙や身近な材料を使っての遊び体験を通して、子どもの遊びへの思いや育ちにふれたいと思います。				
	備考	使用備品:黒板もしくはホワイトボード。 PCは持参。DVDを使用。				
No.24	タイトル	声を出してみよう お腹から歌うって??	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			CB	体験型	30人	
	授業内容	歌う時「お腹から声を出して」とよく言われますが、よくわかりませんよね。仕組みを知って、声を出す体験をします。				
	備考	DVDを見る機材/ピアノ(ピアノがない場合は、キーボードを持参します)				

2026年度びわ学プレカレッジ(出前授業)メニュー

No.25	タイトル	子どもを持つ親のリアルと子育て支援 今時の子育て家庭の現状って！？	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			CH	講義型	指定なし	
	授業内容	いつかあなたが親になったら・・・幸せだと思う瞬間もたくさんあるけど、それと同じくらいきつと大変なこともあります。保育所、幼稚園、子育て支援センター等で働きたい人だけでなく、将来親になりたいと考えている人にも知ってほしい今時の子育てのリアルと課題についてお話します。				
	備考					
No.26	タイトル	幸せって何？ 社会福祉の視点で今とこれからの幸せについて考えよう	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			CH	体験型	指定なし	
	授業内容	福祉と聞いてみなさんは何を思い浮かべますか？福祉とは実は幸せという意味で、幸せな生活を支援する学問であり、実践です。みなさん一人ひとりにとっての幸せとは何か、一緒に探索してみましよう！				
	備考					
No.27	タイトル	生活習慣と心の健康 心と身体を整えよう	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			D	講義型 その他	40人	○
	授業内容	若い時からの生活習慣はとても大切であり、生涯を通じる健康についてわかりやすく学びます				
	備考					
No.28	タイトル	医療・看護・養護・社会福祉・介護系を目指す方へ	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			DHIJ	講義型 その他	指定なし	○
	授業内容	医・歯・薬・看・社会福祉・介護系を進路に考える方々と、「なりたい自分になるために」「生命ってなんだろう？」「仕事への適性は？」など、あれこれ、わいわい、がやがや、いろいろ話しあい、考えましょう。				
	備考	聴診器は持参します。機材は持参可能。				
No.29	タイトル	児童・生徒の身体活動に関わるメンタルケア スポーツカウンセラーの仕事	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			E	講義型	40人	○
	授業内容	スポーツ経験を自身の心理社会的発達につなげてきているアスリートは多く存在します。スポーツカウンセリングでは、「今、そこで」の問題の解決への積極的な取り組みを通して、それまでの生き方の流れを変え、以後の成長につなげていく場となるものと考えられます。そこで、本講義ではカウンセリングで語られるアスリートが振り返る児童期の特徴的な歩みに触れながら、こころの発達につながるスポーツ活動についてお話します。				
	備考	スクリーン(白布・白紙も可)を使用します。				
No.30	タイトル	球技に活かすムーヴメントスキルの獲得	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			E	体験型	指定なし	○
	授業内容	バスケットボールやサッカーなどのゴール型の種目・球技で大切となる、身体の使い方やムーヴメントについて学びます。加速と減速、方向転換などの動きを実際に体験しながら、スポーツパフォーマンスを高めるための考え方をわかりやすく紹介します。あわせて、スポーツ科学の研究をもとにしたエビデンスベースのトレーニング指導についても、実体験を踏まえて学びます。				
	備考					

2026年度びわ学プレカレッジ(出前授業)メニュー

No.31	タイトル	元プロ選手から教わるバスケットボール	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			E	体験型	30人程度	
	授業内容	実際にプロ選手としてプレーした経験がある指導者がバスケットボールを教えます。大学内での体育実技で行っている指導内容、部活動指導で使える指導スキル、それぞれのニーズに合わせて内容を構成します。				
	備考	バスケットボール、体育館を使用します。 参加者のニーズに合わせて指導方法や内容を決定します。				
No.32	タイトル	スポーツ科学研究体験	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			E	体験型 講義型	5~20人	○
	授業内容	スポーツ科学の研究ではなぜあの選手は強いのか、速いのか、高く跳べるのか、長い時間動けるのか、などそのヒミツを探ります。この授業では専用の研究機器を利用して参加者の身体を測定します。				
	備考	参加者の人数・要望に応じて内容を調整します。用紙・筆記用具要。				
No.33	タイトル	スポーツ栄養学(入門編)	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			E	講義型 体験型	指定なし	○
	授業内容	スポーツ競技力を高めるための栄養摂取やスポーツ障害を予防するための栄養摂取を考えます。効果的な食事とトレーニングの組み合わせ等についても扱います。				
	備考	参加者の要望(相談事)に応じて内容を調整します。用紙・筆記用具要。スクリーン必要。				
No.34	タイトル	実力発揮するには？ メンタルトレーニングを体験してみよう(導入)	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			E	体験型 講義型	40人	○
	授業内容	「ここぞ」という時に力を発揮するためには、どうしたらよいのでしょうか？メンタルが強い(弱い)とはどういうことなのでしょうか？チームワークを高めるためにはどうしたらよいのでしょうか？本講義では、「ここぞとからだ」のつながりについて考え、実力発揮を目指したメンタルトレーニングの導入部分を体験します。				
	備考	人数が多くても可能ですが、できること(体験)に限られます。				
No.35	タイトル	実力発揮するには？ メンタルトレーニングを体験してみよう(展開)	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			E	講義型 体験型	指定なし	○
	授業内容	「ここぞ」という時に力を発揮するためには、どうしたらよいのでしょうか？本講義では、メンタルトレーニングで実際に行われるプログラムの一部(自己分析・目標設定・リラクゼーション技法・思考の整理法・チームビルディングなどから1つ程度)を体験します。				
	備考	人数が多くても可能ですが、できること(体験)に限られます。				
No.36	タイトル	水泳の飛び込みを安全に習得する！	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			E	体験型	40人	
	授業内容	事故への配慮からプールで飛び込みを練習する機会は減っているのではないのでしょうか？それでも、地域の水泳大会や水泳部員が参加する記録会や競技会においては、台上からの飛び込みでスタートが行われています。どのような条件が揃うと危険な飛び込みになるのか？安全に飛び込みを習得するためにはどうすればいいのか？について、最新の研究などを紹介しながら、飛び込み動作の習得を目指します。				
	備考					

2026年度びわ学プレカレッジ(出前授業)メニュー

No.37	タイトル	アスリートは今どうあるべきなのか？ コーチング学の立場から、アスリートやスポーツ関係者に知っておいてほしいこと！	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			E	講義型	指定なし	○
	授業内容	近年、スポーツアスリートの「人間力」・「インテグリティ」が注目されています。スポーツに取り組む者はそれだけで何かと注目される存在です。スポーツに関わる全ての人に、今どのようなことを社会から期待されているのか？それとどのように関わってゆけばいいのか？について解説していきます。				
	備考					
No.38	タイトル	言葉がひらく教育の可能性 発達に偏りのある子どもの支援に着目して	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			F	講義型	指定なし	○
	授業内容	この授業では、読む、話す等の言葉を使ったコミュニケーションに課題をかかえる子どもの実情を紹介し、具体的な支援の方法を考えていきます。そのうえで、ICTをはじめとする教具や絵本等の教材の活用例を示し、身近なことからはじめる支援の方法を考えていきます。				
	備考	当日は受講生分のipad、プロジェクターとスクリーン(又はテレビ)を使用します。PCは持参します。				
No.39	タイトル	ピクトグラムでコミュニケーション	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			FH	講義型	指定なし	○
	授業内容	東京オリンピックの開会式で、競技を表すピクトグラムのパフォーマンスを覚えていますか。ピクトグラムは、ことばの意味を明瞭に表す記号です。言語指導の1つとして、言葉を話すことが難しい自閉症スペクトラムや脳性麻痺や知的障害のある人たちが、ことばの代わりにピクトグラムを使ってコミュニケーションをとる方法があります。どのような方法なのか、紹介します。				
	備考					
No.40	タイトル	知的障害や発達障害のある人たちにわかりやすく伝えるコツ	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			FH	体験型 講義型	指定なし	○
	授業内容	私たちは新聞や本やインターネットなどから、必要な情報を得て生活しています。文字を読んだり文章を理解することが苦手な人たちが、同じように情報を得るためにわかりやすく伝える方法について考えましょう。わかりやすくリライトする体験もしてみましょう。				
	備考					
No.41	タイトル	楽しく！ソフトウェアの仕組みを学ぼう！ 簡単なプログラミング体験を通して！	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			G	体験型	PC台数	○
	授業内容	高校生が親しみ易いように、日本語をベースとした教育用プログラミング言語を用いて、簡単なプログラム作成を体験的に学習していただきます。そして、その体験学習を通して、今世の中にある多くのソフトウェアの基本的な仕組みを学ぶとともに、現在流行のJava等に使われているオブジェクト指向的プログラミングについても体験していただきます。				
	備考					
No.42	タイトル	大規模災害時、災害弱者といわれる人をどう守るのか 高齢者や障がい者、子どもといった、災害弱者をどう守るのか	分野	形式	最大人数	プロジェクト
			H	講義型	指定なし	○
	授業内容	東日本大震災時に、高齢者や障がい者、そして学校や保育の現場では、一体何が起こり、そしてこれからの災害に備えて私たちは何を準備しておけばいいのか、について、当時の状況を振り返りながら防災力を高めるための訓練を講義形式で行います。				
	備考					

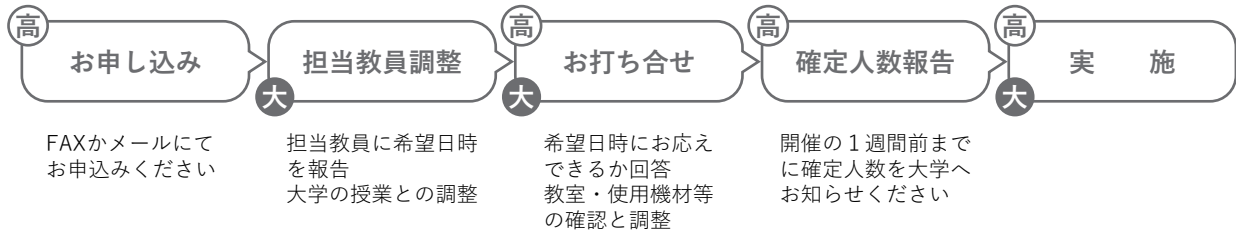
2026年度びわ学プレカレッジ(出前授業)メニュー

No.43	タイトル	これからの社会福祉・社会保障 私たちの暮らしの中で、社会福祉や社会保障がどう関係しているのか	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			H	講義型	指定なし	
	授業内容	私たちが日々の生活をおくる際、社会福祉や社会保障における制度がどのように関係しているのか、具体的事例をあげながら、講義を進めます。結婚し、子どもが生まれ、そして育て、働き、親の介護があり、そして自らの最期を迎えるまで、といった人生の中から、社会福祉や社会保障との関係を探っていきましょう。				
	備考					
No.44	タイトル	コミュニケーションゲーム 福祉現場に必要な「話す、聴く、伝える」を学ぶ	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			HI	体験型	16人	
	授業内容	さまざまなゲームを通じて話す、聴く、伝えるといったことを学びます。福祉の分野では相手を観察し、話を受けとめ、伝えるセンスがとても重要となっています。ここでは、主にそれらのことを中心に体を動かしながら学んでいきます。				
	備考	机やいすが移動できる部屋を希望。				
No.45	タイトル	人間関係とは 自己実現を目指して	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			H	体験型 講義型	指定なし	
	授業内容	自己決定の尊重や受容など福祉の基本的なコミュニケーション技術を学びます。人間関係で傷ついたり、うまくいかなかったなど、誰でもあることです。コミュニケーションの基本を理解することで、人生を楽しみましょう。				
	備考	配布資料があります。				
No.46	タイトル	介護過程の展開 介護過程の構造を理解し、アセスメントの達人を目指しましょう	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			I	体験型 講義型	指定なし	○
	授業内容	介護過程の基礎理論からアセスメントのポイントについて学びます。介護現場のリーダーとして必要な知識・技術について理解し、専門性とは何かについて一緒に考えましょう。				
	備考	配布資料があります。				
No.47	タイトル	認知症の理解 認知症の種類や関り方について考えてみよう	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			I	講義型	指定なし	○
	授業内容	認知症はアルツハイマー型認知症だけでなく、たくさんのタイプがあります。タイプによっても経過や関り方が変わります。認知症について学んでみませんか				
	備考	DVD視聴機器が必要。				
No.48	タイトル	高齢者体験 高齢者体験キットを使い、高齢者の気持ちになってみよう	分野	形式	最大 人数	プロジェク ター
			I	体験型	10人程 度	
	授業内容	高齢になると、体に変化がみられます。高齢者体験キットを使用して、高齢者の気持ちになってみよう。				
	備考	2人ペアになって、廊下や階段を歩きます。				

●授業の専門分野

教育（全般）	教育（養護教諭）	情報系	その他
教育（小学校）	教育（スポーツ）	福祉系（全般）	
教育（幼稚園・保育園）	教育（特別支援）	福祉系（介護）	

●お申し込み～実施までの流れ 高…高校 大…大学



●申し込み方法

別紙「申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXあるいはE-mailにて「びわこ学院大学 入学センター」までお申し込みください。

出前授業		びわこプレカレッジ		申込用紙	
必要事項をご記入いただき、下記FAXまでお申込ください。					
申込日	年 月 日	FAX 0748-23-7202			
学校名					
ご担当	よりがま 氏名	部署名			
受講学年	受講者数	名	<input type="checkbox"/> 予定	<input type="checkbox"/> 確定	
連絡先	電話番号				
	e-mail				
希望授業	授業No	授業タイトル			
	授業No	授業タイトル			
希望開催日	希望日	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 (分間)			
	希望日	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 (分間)			
実施場所	1. 高等学校で実施 2. 本学で実施 3. その他				
連絡欄					

お問い合わせ先
お申し込み先

びわこ学院大学
びわこ学院大学短期大学部 入学センター
〒527-8533 滋賀県東近江市物部町2-9
TEL 0748-35-0006 FAX 0748-23-7202
E-mail: cl-admin@newton.ac.jp

受講者数

申し込み時点でののおおよその人数で結構です。
予定の場合、開催1週間前までに確定人数をお知らせください。

連絡先

E-mailをお願いします。

希望授業

第1希望は必ずご記入ください。

希望開催日

第2希望のご記入にご協力をお願いします。

実施場所

本学での実施でスクールバスの利用を希望される場合は、
連絡欄に「スクールバス希望」とご記入ください。

連絡欄

ご質問・ご要望等をご記入ください。

FAQ

- Q. 希望日に実施できるかどうかは、いつわかりますか？
A. お申込みいただいてから、1週間以内にはお返事します。
- Q. 謝礼は必要ですか？
A. 謝礼は必要ございませんが、場合によっては交通費等をお願いすることがございます。

お問い合わせ先

びわこ学院大学 入学センター

【TEL】 0748-35-0006 (直通) 0748-35-0006 (大学代表)
【FAX】 0748-23-7202 【E-mail】 cl-admin@newton.ac.jp

申込用紙

申込日	年 月 日
-----	-------

学校名											
ご担当	ふりがな				部署名						
	氏名										
受講学年			受講者数	名	<input type="checkbox"/> 予定 <input type="checkbox"/> 確定						
連絡先	電話番号										
	E-mail										
希望授業	第1希望	授業No	授業タイトル								
	第2希望	授業No	授業タイトル								
希望開催日	第1希望	西暦	月	日	曜日	時	分	～	時	分	分間
	第2希望	西暦	月	日	曜日	時	分	～	時	分	分間
実施場所	<input type="checkbox"/> 1. 高等学校で実施 <input type="checkbox"/> 2. 本学で実施 <input type="checkbox"/> 3. その他										
連絡欄											

網掛けの部分は編集できません。
 該当するものにチェックしてください。